



夢への挑戦！



自信と誇りと感謝を胸に！

小野中学校だより

第 17 号

文責：校長 大河原久宗

2019.1.8.TUE

TEL:72-3355 FAX:72-2829

<教育目標>

【夢～自立・友愛・健康】

- ・課題を持ち、進んで学ぶ生徒
- ・互いのよさを認め、高めあう生徒
- ・健康で、心身を鍛える生徒



平成30年度 3学期始業式！



明けまして、おめでとうございます。子どもたちが、
こうして元気に集うことができ、うれしく思います。

冬休みはどうでしたか？「ありがとうございました。」の感謝の言葉
を心を込めて言うことができましたか？ 3学期も多くの人に見守られながら過ごすことになります。
感謝の気持ちを素直に表現できる自分を大切にしてください。

さて、第95回東京箱根間往復大学駅伝競走は1月2、3日、東京・千代田区大手町の読売新聞社
前～神奈川・箱根町の芦ノ湖を往復する10区間217・1キロで開催され、3日の復路（5区間
109・6キロ）は2位でスタートした東海大学が8区で小松陽平（3年）選手の区間新記録の力走
で東洋大（往路1位）を逆転するとそのまま逃げ切り、10時間52分9秒の大会新記録（5分以上
短縮）で、初の総合優勝を飾りました（往路2位・復路2位）。ゴール地点の読売新聞社前では10
区の郡司陽大（3年）選手がゴールテープを切ると、歓喜の輪ができました。そして郡司選手や両角
速監督（52）が胴上げされ新春の大手町の宙を舞いました。両角監督は初優勝に「信じられないよ
うな心境ですが、うれしい」。勝因については「10人の選手が、やってきたことに自信を持って
やってくれたことに尽きる。（これまで）悔しい思いがあったが、そこ（＝箱根駅伝での優勝）に向
けてチャレンジ、挑戦していく姿勢が発揮されてうれしい」と語りました。

3学期も「夢への挑戦」は続きます。何事にも挑戦していくことを忘れずに「元氣・根氣・本氣」
で取り組み、やってきたことに自信と誇りを持つことが大切です。頑張れ！小野中生！寒さに負け
ず、今年も頑張りましょう。【1/4のポータルサイトより】

新しい年の初めにあたり、今よりさらにいい学級・学年・学校だったとだれもが言えるものにする
ために、**もう一步の前進**をして一年のまとめをしっかりしてほしいと思います。そのために、日々
の生活の中で心がけてほしいことをお話します。

それは、「**他の人のために何かできないか**」考えてほしいの
です。自分が困ったり、苦しんでいるとき、助けられ、励まされ、
感謝した体験は誰にでもあると思います。集団の中の一人として
生活する時、自分のことだけ考えていたのでは、楽しく、充実し
た学校生活は送れないことも十分わかっているはず。まず、
自分から、他の人のために何かをすることによって、自分自身が
助けられ、自分がここにいることの意味が実感できるのです。学
校行事、生徒会活動、部活動、学級・学年活動を中心に、一人ひ
とりが、「**他の人のために何かができる**」時、より楽しい学級
や学年、学校になるのです。何かをすることが他の人のためば
かりでなく、自分自身のためであることを心にきざんでほしいも
のです。充実した3学期にしましょう。

3学期の行事のメインは「卒業式」でしょう。3年生にとっても1・2年生にとってもこの1年の
中で最高の思い出になるような式にするためにも、「他の人のために何かできないか」を考えて生活
してほしいのです。



間往復大学駅伝競走 ★ SAPPORO

ゴールするアンカー 東海大学 郡司選手



8区で小松選手に給水する三上選手（2019）

3年生にとっては、進学（入試）や就職に向けて忙しい時期か
もしれません。忙しい時期だからこそ、心にゆとりをもち、「**他
の人のために**」と考えることは大切だと思うのです。そんな生徒
が通う学校であってほしいです。**誰かの笑顔のために頑張る**、
すてきなことだと思いませんか。そんな心をみんなで持てたらす
てきな学校になるのでしょうか。

今日から始まる52日間（46日間）
「**誰かの笑顔のために**」、「**他の人の
ために何かできないか**」の心で生活し、
猪突猛進「どんどん突き進める」よ
い年になることを願っています。

